**湘南障害者就業・生活支援センター／湘南地域就労援助センター
令和5年度事業報告**

●令和5年度事業方針と事業内容

年齢層や生活背景において制度を横断するような多様な相談支援を行うにあたり、常に社会情勢や地域状況の把握を行い、地域全体の就労支援力向上と障害者雇用の拡大に向け、次方針をもとに事業を行った。

- 求職者に対して適切な状況把握と就労段階に応じた支援を行うためのアセスメントを実施する。就労が難しい求職者に対しては、福祉サービスや行政につなげるための支援を行う。
- 就労者向け、求職者向けそれぞれのプログラム提供により、登録者と関わる機会を持つ。
- 地域の関係機関へ計画的に訪問し、センター機能説明や情報交換を行うことで、相談者の支援ニーズに合わせたコーディネートを行う。

(1) 相談・支援の実施

年齢幅の広がりや手帳なし、就労以外の困りごとなど相談内容が多様化している。令和5年度も電話や来所による一次相談、説明会の参加を経て93名が登録となった。登録後、直ぐに就労することが難しく職業準備性を整える必要がある方や再就職が困難な離職者に対しては、福祉サービスへ繋げる支援を行い、33件が新規利用に至った。定着支援においては、職場訪問以外に登録者や企業との電話やメール、オンラインでの相談対応を行い、支援充実を心掛けた。また福祉機関や相談支援機関、生活支援機関、生活困窮支援機関、医療機関、教育機関、行政機関等と情報共有をしながら支援を進めた。

【実績】

① 新規相談者数（件）

	求職相談	定着相談
身体	10	4
知的	15	11
精神	66	17
その他	54	10
小計	145	42
合計	187	

② 新規登録者数（名）

求職登録者	定着登録者
70	23

- ③ 新規就労者数：62名（前年度就労者の1年経過後定着率 82.3%）
- ④ 延べ相談支援件数(来所、電話、訪問、同行等)：6,072件
- ⑤ 職場実習等実施状況：30件（うち5件は3日未満の実習）
- ⑥ 事業主に対する支援：231事業所（職場訪問件数248件、電話等相談支援件延べ1,493件）
- ⑦ 年度未登録者数：1,198名

(2) 職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

在職中の障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩みや解決方法を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着の促進を目的に、次のとおり交流会を実施した。

- ① 第1回「いつでもどこでも身体をリセット イス・ヨガ」

- 【集合開催】令和5年7月8日(土) 10:30~11:30 【参加者】14名
 【対象】就労者全員 【場所】ココテラス湘南会議室 【講師】センター職員
- ② 第2回「こころの健康講座～ストレスと上手につきあう方法を知ろう～」
 【集合開催】令和5年9月30日(土) 10:30~11:30 【参加者】14名
 【対象】就労者全員 【場所】ココテラス湘南会議室
 【講師】医療法人社団早雲会 相模湖病院 看護部長 松山氏
- ③ 第3回「はたらく時に役立つしき」
 【集合開催】令和5年11月11日(土) 10:30~11:30 【参加者】25名
 【対象】就労者全員 【場所】ココテラス湘南会議室 【講師】かながわ労働センター湘南支所 神田氏
- ④ 勤続表彰
 【集合開催】令和6年2月9日(金)・10日(土) 【参加者】33名
 【対象】就労者のうち、表彰対象年数勤続者 【場所】湘南地域就労援助センター
- ⑤ 余暇支援「ボウリング大会」
 【集合開催】令和5年10月14日(土) 9:30~12:00 【参加者】29名
 【対象】就労者全員 【場所】江の島ボウリングセンター
 【目的】就労者へ余暇活動を提供し、ストレスの解消とリフレッシュや交流の場を広げてもらう
- ⑥ しょうなん通信
 【発行】年3回 【案内方法】郵送・メール 【対象】就労者
 【目的】職員紹介、地域資源情報等の発信、交流会の案内等

(3) ピアサポート活動

働く障害当事者の情報共有の場として次のイベントを企画・実施した。

- ① 座談会「はたらく仲間と、きがるに話して気持ちスッキリ!」
 「認知行動変容アプローチ情報」
 【集合開催】令和5年8月5日(土) 11:00~12:00 【参加者】14名
 【目的】安定した勤務継続するために就労者同士で仕事や生活についての話やストレス解消方法の共有や就労者同士の繋がりづくりの促進
- ② センター新規相談者向け説明会(体験報告や当事者からのアドバイス)
 【集合開催】毎月2回 第2木曜日①10:00~11:00、②14:00~15:00 計22回
 【参加者】各回5名程度
- ③ 就職応援講座「面接スキルアップと就労者からの実体験について」
 【集合開催】令和5年9月12日(火)10:30~11:40 【参加者】10名
 【講師】藤沢公共職業安定所 主任就職促進指導官 吉田氏、就業支援ナビゲーター吉田氏

(4) 地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナー等

地域の支援機関連携を図るためのハブ機関を目指し、支援ネットワーク形成や支援機関及び企業担当者への支援ノウハウ継承を行い、地域全体の支援水準の底上げを図った。

- ① 圏域内の就労支援ノウハウの底上げや就労支援員同士のネットワーク強化を目的として就労移行支援事業所や就労継続支援事業B型等の福祉機関、行政、ハローワーク、相談支援事業所・医療機関等の主に就労支援に携わる職員を招き、障害福祉サービス事業所等で就労支援に携わる現場職員同士の横の連携を活かした支援体制構築のための事例検討会(SJの会)を開催した。

- 【対面】令和 5 年 6 月 1 日（参加 19 機関 29 名）、令和 6 年 2 月 21 日（参加 22 機関 35 名）
- 【オンライン】令和 5 年 10 月 20 日（参加 8 機関 11 名）
- ② 圏域内の就労移行支援事業所と労働局、神奈川県、2 市 1 町の行政機関を交えた連絡会議にて、各事業所の近況やニーズについての意見交換と研修を開催した。
- 【対面】令和 6 年 1 月 17 日（参加：23 名）
- 【内容】「国・県・藤沢職業安定所からの障害者雇用状況」「湘南地域就労援助センター状況」「高次脳機能障害のある方の就労支援研修」
- ③ 圏域在住の生徒が通学している支援学校やインクルーシブ教育実践推進校と安定した就業生活を送るための定着支援や内定者の情報交換、就労後の支援体制についての意見交換を行った。
- 【対面】令和 5 年 8 月 24 日（参加：12 校 14 名）、令和 5 年 12 月 13 日（参加：12 校 12 名）
- ④ 茅ヶ崎市就労・生活支援部会に参画し、令和 6 年 1 月～3 月に市内 8 カ所で職場体験実習を企画、実施した。
- ⑤ 湘南東部地区精神障がい者就労推進協議会（SEJA）に参画し、就労移行支援事業所、B 型事業所、保健所、デイケアおよび行政（計 14 事業所）と毎月 1 回、求職にむけた支援についての各種企画運営や障害福祉サービスに関する情報共有を行った。主な企画は下記のとおりである。
- 「神奈川県労働局、職業センター、県雇用労政、県障害者福祉課、雇用促進センター、発達障害者地域支援の取り組み」
- 【対面】令和 5 年 6 月 29 日 【参加：62 機関 57 名】
- 【テーマ】県内各機関の施策や今後の事業展開を学ぶ
- 「はたらく Link セミナー」
- 【対面】令和 6 年 10 月 27 日 14:00～16:00 【参加：41 名】
- 【テーマ】働くことや障害者雇用の企業を知る
- 「ホップステップジャンプ（HSJ）セミナー」
- 【対面】令和 5 年 11 月 1 日～12 月 13 日（全 6 回） 【参加：6 名】
- 【テーマ】仕事の探し方、模擬面接等
- ⑥ 藤沢市、藤沢市就労移行・就労継続支援等事業所連絡会、藤沢市商工会議所主催の「ふじさわ障がい者お仕事フェア」に参画し、ブースでの相談やセンター機能の紹介を実施した。
- 【対面】令和 6 年 1 月 19 日、20 日 【相談者】8 名

(5) 中小企業における障害者支援担当者に対する支援の実施

中小企業においては、障害者雇用に関するノウハウを有する人材が限定的であり、企業内で雇用管理上の相談等を共有することが難しいという現状が見られている。日々業務における悩みや疑問を相談、解消できる場を提供するとともに、企業の垣根を越えて日常的に相談し合えるネットワークの構築を図ることを目指し、藤沢市と協働して中小企業交流会を開催した。障害者雇用を熱心に取り組んでいる企業から取り組みについてを講演してもらい、参加企業と障害者雇用についてのグループワークを行った。

【対面】令和 5 年 10 月 6 日 【参加企業】9 社 11 名

(6) 職員参加研修

No	研修名	日程	参加人数
1	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 「障害者就業・生活支援センター 主任就業支援研修」	9月13日～15日	1名
2	神奈川県社会福祉協議会 「相談援助研修（基本編）」	9月5日、12日、19日	1名
3	神奈川県障がい者就労支援力向上研修会 「障がい者就労支援力」について考える 支援員の基礎知識	8月21日～10月31日 (オンライン)	1名
4	神奈川県社会福祉士会横浜支部 「平塚市における農福連携フォーラム 農福連携の課題と展望」	9月23日	1名
5	神奈川県社会福祉士会横浜支部 「障害のある人に寄り添う意思決定支援とは 就労支援の現場から」	10月8日	1名
6	やまゆり知的障害児者生活サポート協会 「知的障害のある人が地域で安心して暮らしてゆくために 住まいの切り口から」	11月2日	1名
7	ペガサス平塚センター 「愛着に課題のある方への支援」	11月5日	1名
8	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 「南関東エリア 就業支援実践研修（高次脳機能障害コース）」	11月21日	1名
9	神奈川県発達障害支援センターかながわA 「支援者向け研修 困難な事例に対する支援の視点」	11月22日	1名
10	高齢・障害・求職者雇用支援機構 「障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修」	11月28日～12月1日	1名
11	神奈川県 「精神科医療機関との情報共有・連携のために」	1月5日～1月25日	1名
12	全国就業支援ネットワーク 「障害者就業・生活支援事業をより深く考えるための全国フォーラム」	2月22日、23日	5名
13	ミラトレ藤沢 「はたらく座談会」	2月23日	1名
14	法人3センター研修	2月29日	7名
15	Conference of Employment First 2024 (Conference of Employment First 2024)	3月8日	2名

(7) 厚生労働省・神奈川労働局経験交流会等の出席

① 第1回都道府県センター連絡会議

労働局主催の都道府県連絡会議に出席し、同一県内の各センターとの意見交換や事例検討を行い、センター間の連携を強化、支援力の質の向上を図った。

【対面】令和5年10月11日 【参加者】主任就業支援担当

② 南関東ブロック経験交流会議

障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議に出席し、グループ議題に合わせた意見交換や課題の共有を図った。

【オンライン】令和5年11月14日 【参加者】主任就業支援担当、就業支援担当

(8) 障害者就業支援アドバイザーの活用

伊藤 絵美氏（洗足ストレスコーピング・サポートオフィス所長、博士（社会学）公認心理師、臨床心理師、精神保健福祉士）より登録者の対応について、個別事例の対応方法について助言をいただいた。

令和5年度は1回活用した。